

ONES WALL SA-KAN-左官- 施工マニュアル

*本要領書をよく読み、施工手順に従って施工してください
*本品は改良のため予告なく変更する場合があります。

I. 塗装準備

[1] 希釈

●本品10kgに対して、水4.3リットル

[2] 調合手順

●4.3リットルの水を練り樽に入れてください。

※着色する場合は、適量の着色液をこの時点で投入し、水とよく混ぜてください。

●本品を用意した水に少量ずつゆっくりと投入してください。

※本品は粉末状のため、飛び散らないように注意してください。

●ダマが無くなり十分なじむまで、攪拌機で良く混ぜてください。

※時間を置かず攪拌すると、ダマができ、なめらかな状態になりません。

●30分以上は練り置きしてください。

●施工前に再度5分程攪拌してください。

[3] 注意点

●比重の異なった材料がはいっているため、必ず袋単位で攪拌施工し、分割使用は絶対に行わないでください。

※施行後の残った材料は、密封しておけば再度攪拌して使用可能です。(約1年間)

II. 下地処理

新築の下地処理

[1] 石膏ボードの場合

●石膏ボードは12mm以上の平ボード貼りにしてください。

●石膏ボードのジョイント部分、廻り縁、枠、巾木などは隙間のないように施工してください。

●廻り縁、枠、巾木のチリは、塗り厚3mmの為、8mmは必要です。

●ボード、合板などの固定は、錆の出ない亜鉛メッキ、またはステンレスビスなどを使用してください。

またビスの頭部はボードより突出しないようにし、必ずパテをしてください。

※鉄分がある場合、錆が出るので使用しないでください。

[2] 石膏ボード以外の場合(コンクリート・モルタル仕上げ・コンパネ・ベニヤなど)

●下地調整をしてください。必ずアク止めシーラーを塗布してください。

●コンクリート、モルタル仕上げ、コンパネ、ベニヤなどの場合は、水の吸収を均一にするためシーラーを塗布後、ワズウォール左官専用下塗材で表面全体を塗り、塗り残しのないようにする。

[3] ジョイント処理方法

●ワズウォール専用下塗材を水で硬めに練りパテ材としてプラスターボードなどの隙間、ジョイント部に塗り込んでください。

●乾燥を確認後ジョイント部の上にファイバーテープを貼ります。

※角の隅にも直角に貼ること。

●全面にワズウォール左官専用下塗材を塗ります。

●下地の状態が仕上がりに大きく影響するので、下地は不陸をなくします。

●石膏ボードの表面は紙で出来ており、湿気の吸収を繰り返すことにより、壁としての強度及び密着力が弱まるため、全面に塗り強度を保持してください。

リフォームの下処理

●ビニールクロスをはがして塗るときは、クロスをはがした後、残った紙もきれいに取り除き、プライマーを1回塗る。

●土壁、じゅうらく壁などの場合も必ず上塗りははがした後、中塗りの上に浸透性プライマーを1回塗ること。

共通注意事項

※既存の下地やクロスがしっかり止まっていない場合、またジョイント部分の下地が入っていない場合、鉄釘が使用されていた場合などは、それぞれ下地処理をした上で、必ずシーラー塗りを行うこと。

養生

●本材は弱アルカリ性のため、廻り縁、枠、巾木など無垢の建材が変色する場合があります。塗装時これらに付着しない様必ずマスキングテープで養生してください。また、塗装時に床、家具、電気機器等に付着しない様、養生シート、ビニールシートなどで保護してください。

指定プライマー、シーラー

●ノボクリーンシーラー(無機素材用シーラー 内装用)

●ノボクリーンプライマー(鉄部用さび止め 内装用)

●ノボクリーンエポシーラー(珪酸カルシウム板用シミ、ヤニ止めシーラー 内装用)

Ⅲ. 仕上げ施工

[1] 湿らしこすり(1mm)

- 標準施工厚は3mmですが、最初に湿らしこすりを行う。
※塗りむらがあってもかまわない。(ボードの表面を均一に湿らせるため)

[2] 仕上げ塗り(2mm)

- 湿らしこすり後、追いかけて塗る。

[3] むら直し

- 仕上げ塗り後、水の引き具合を見てむらを直す。この時点でテクスチャ仕上げを行ってください。
※コテむらは帆立貝特有の風合いにより、多少荒目の仕上がりととなります。仕上げコテでシゴキをしすぎると、テカりの原因になります。また、塗り面が出来上がってからの付け足しや、再着色は色むらの原因になります。
- チリ拭き、チリ押さえ(テープ養生の場合は必要なし)、廻り縁、枠、巾木等をチリボウキで水拭きしてください。

Ⅳ. 保管

- 本品は粉末状であり、水分と反応します。梱包において湿気対策を施してありますが、地面に直接置かず、パレットの上などに保管してください。また、湿気の少ないところに保管してください。

Ⅴ. 使用上の注意・禁止事項

- 目や肌に触れないよう、安全めがね、保護服、防護手袋、防塵マスクをつけて作業を行ってください。
目に入った場合、大量の水で洗い流し、医師の診断を受けて下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。風通しの良い室内、もしくは倉庫などに保管して下さい。
- 直接水のかかる場所での使用は避けて下さい。
- 本品は5℃以下での施工は行わないでください。
- 無垢の羽目板、タイル貼りへの直接施工は絶対に行わないで下さい。
- 本品は修理用壁材ではありません。躯体の構造的ひび割れ修復には使用できません。
- 残材廃棄は、各自治体の廃棄基準に従って下さい。
- 作業終了後は風通しをよくし、高温多湿にならない様、十分注意してください。

OW-SS

ONES WALL-左官-「専用下塗材」 施工マニュアル

専用下塗材 使用方法

Ⅰ. 塗装準備

[1] 希釈

- 本品10kgに対して、水3.2ℓ

[2] 調合手順

- 3.2ℓの水を練り樽に入れてください。
- 本品を用意した水に少量ずつゆっくりと投入してください。
※本品は粉末状のため、飛び散らないように注意してください。
- ダマが無くなり十分なじむまで、攪拌機で良く混ぜてください。

[3] 注意点

- 本品はセメント系ポリマーモルタルです。本品は練ってから1時間以内で施工を行ってください。

Ⅱ. 保管

- 本品は粉末状であり、水分と反応します。梱包において湿気対策を施してありますが、地面に直接置かず、パレットの上などに保管してください。また、湿気の少ないところに保管してください。

Ⅲ. 使用上の注意・禁止事項

- 目や肌に触れないよう、安全めがね、保護服、防護手袋、防塵マスクをつけて作業を行ってください。
- 目に入った場合、大量の水で洗い流し、医師の診断を受けて下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。風通しの良い室内、もしくは倉庫などに保管して下さい。
- 直接水のかかる場所での使用は避けて下さい。
- 本品は5℃以下での施工は行わないでください。
- 無垢の羽目板、タイル貼りへの直接施工は絶対に行わないで下さい。
- 本品は修理用壁材ではありません。躯体の構造的ひび割れ修復には使用できません。
- 残材廃棄は、各自治体の廃棄基準に従って下さい。
- 作業終了後は風通しをよくし、高温多湿にならない様、十分注意してください。